

# みなさんは、どう考えますか？ ご意見を聞かせてください

Part 2

伊豆の国市の水害と言えば、狩野川台風を思い浮かべる人が多いと思います。狩野川本川は国が管理者で、県の役割は、狩野川に流入する河川整備を推進していくことです。河川の堤防・護岸工事や排水機場の整備、河床浚渫(川底の土砂やヘドロを取り除くこと)など、浸水による被害を抑える整備に終わりはありません。

国も、「狩野川水系河川整備計画」により事業を実施していますが、最近の記録的な降雨量は、狩野川の流下能力の限界に達しており、狩野川本川の決壊を防ぐ対策として、支川の流量を抑えることにより長崎・奈古谷・原木・宗光寺・小坂等で内水被害を起こしています。この状況では、狩野川整備計画が完了しても浸水被害はなくなりません。

「放水路の機能向上」や「第2放水路の新設」について何年も前から国交省に要望活動は行っています。しかし、様々な課題があるとして一向に進みません。また、新放水路の整備が計画されても、完成するのは早くても10年以上先となり(狩野川放水路は、昭和26年着工、

昭和40年完成)、問題解決は随分先送りとなります。今は、国に対する要望活動は続けながら、できる事業を着実に実行し、浸水被害を軽減していくことが重要です。

そこで、地域住民のみなさんが、地域毎に危険箇所の有無を確認し、整備に対して早めに声を上げていただくことが大切です。

行政は、危険箇所の優先順位を決めて事業を進めており、必要性を認識していても全ての事業を一度に進めることはできません。陳情・要望活動は地域を守る一つの手段であり、その結果、進む事業があることも事実です。

**地域一丸となって災害の危険性を共有していますか？**  
みなさんのご意見をお聞かせください。



狩野川の水害を鎮め、水難者を供養する伝統行事「かわかんじょう」

静岡県議会議員 [伊豆の国市選出]

# もっとよし！レポート。



発行者:土屋もとよし 発行日:令和4年8月20日  
〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL.055-948-9635・055-948-0267 FAX.055-947-1811

土屋もとよし 県政報告 Vol.25

## こんにちは！ 土屋もとよしです

県議会議員にさせていただき10年が経ちます。今回は、ここ4年の間に、私自身が関わりをもち、事業化された一部を中面で紹介させていただきます。

県議会議員の仕事は見えにくいところがあります。「橋をかけた。道路を作った。」など、派手な仕事はありませんが、地域に必要な事業に関わりをもち、伊豆の国市の事業の後押しをする裏方的な仕事です。地域の事業が前進することが大事だと思っています。

子育て支援、教育環境、医療・介護体制強化、障害者支援、農業、商工業、観光関係支援、防災対策、道路・河川整備なども真剣に取り組んでいます。

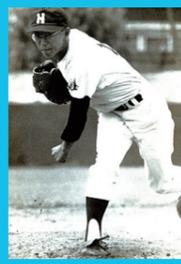


新型コロナウイルス感染症をはじめとする様々な課題への対応、地域経済の復活に全力で取り組んでいきますので、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

レポート 番外編

### 夏の高校野球 保護者の入場を可能に

今年の高校野球静岡大会は、多くの応援団が球場に駆けつけることができました。2年前は、新型コロナにより甲子園での全国大会は中止。地方の代替大会のみが無観客で行われました。昨年も、静岡大会は無観客での開催と報道されました。しかし、新型コロナの状況や球場が屋外であることから、県議員有志で「何とか親だけでも入場できないか」と高野連に直談判し、3年生の保護者2名までは球場内で応援できることになりました。



韭高野球部時代の私

土屋もとよし県政報告  
『もっとよし！レポート。』  
ご希望の方はご連絡ください



ご意見はこちらにお寄せください  
(電話)055-948-9635 または 055-948-0267  
(FAX)055-947-1811  
(メールアドレス)moto@tsuchiya-m.com

◎ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください  
土屋もとよし事務所

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1  
TEL.055-948-9635・055-948-0267 FAX.055-947-1811



「もっとよし！」  
を合い言葉に!!

静岡県議会議員 土屋もとよし 検索 URL www.tsuchiya-m.com

メール会員を募集しております。携帯の方は左記のQRコードを読み込むか、moto@67865.r.at-ml.jp まで空メールをお送りください。パソコンの方はmoto@tsuchiya-m.comまで「メール会員希望」とご連絡ください。

### 今後も関わり続ける大きな課題

伊豆地域の医療提供体制の構築	函南太陽光発電事業の県の対応	「くぬぎ会館」の今後
伊豆地域にとって一番の心配事は、基幹病院である順天堂大学静岡病院に頼る医療の提供体制です。ドクターヘリの運航維持の予算確保や、医師・看護師確保に取り組んできましたが、まだまだ道半ばです。特に、新型コロナの流行により、発熱外来や後遺症対策に大きな不安が残ります。これからも全力で取り組んでいきます。	柿沢川の上流の丹那に計画中のメガソーラーに対する県の林地開発許可について、「65haの広大な山林が無くなることは、柿沢川流域の水害に直結する大きな問題だ」と地元より請願が出され、その紹介議員となりました。一昨年の台風は、市内にも多くの被害を出しており、このまま見過ごすことはできません。県議会としてしっかり検証していきます。	くぬぎ会館は、旧大仁高校跡地に市民交流センターとして整備されました。しかし、県との賃貸借契約は2026年度までです。県では、50年を経過した建物を継続して貸し出すことができない規則となっており、伊豆の国市が買い取って継続するか、県が建物を撤去し処分するかの瀬戸際です。伊豆の国市が決断次第、県へ最善の働きかけをしていきます。

FM IZUNOKUNI 87.7MHz  
スマートフォンやパソコンでも聴くことができます

### 「もっとよし！ラジオ」

毎月第2、第4月曜日12時～12時30分  
再放送 同じ週の金曜日13時～13時30分

静岡県議会議員 土屋もとよし  
You Tube 公式チャンネル

## 「天野陸閘」の 拡幅整備

増水の時に閉鎖され堤防の役割をする天野陸閘は、道幅が狭く危険でした。

長年、救急車の通行のためにも広げることを訴えてきたことが実を結び、昨年度より測量、設計に入りました。

完成までは2年がかかりますが、小坂の子ども達の通学にも安全が確保されます。みなさんの要望活動の成果です。



## 「大仁警察署」の 旧大仁市民会館 跡地での新築

伊豆の国市が誕生した17年前、「大仁警察署の新築」を要望しました。県下で最も古い警察署でしたが、東北の大震災で被災した警察署が多かったことから、県は浸水地域にある警察署を優先してきました。

やっと大仁警察署の順番となり、整備が進められています。来年の4月には、反射炉をイメージした警察署が開署します。



## 集団での PCR検査の実施

2年前の11月、飲食店、宿泊・観光関係施設のみなさんに県の行政検査として抗原定量検査を受けてもらい、「地域の安全が第一と考える伊豆の国市」をアピールすることができました。

県内でも早い実施で、他の地域が後を追うきっかけとなりました。

## 「県民割」の早期事業化と 国への要望活動

国の「Go To トラベル」事業が、全国一律に実施できない状況になった際、静岡県はいち早く「今こそ！しずおか!! 元気旅!!!」を実施することになりました。県旅連の役員さん達と、3度も観光庁に陳情に出向き、コロナ禍に対応するように働きかけました。今後も事業が切れ目なく実施されるよう、県との協議を進めています。



## 「新型コロナウイルスに 打ち勝つ支え合い基金」の設立

医療従事者等への応援金の支給を県議会として考え、支え合い基金を設立しました。

高齢者・障害者・児童福祉施設等の従事者へも拡大し、妊婦等の感染症検査体制の充実にも使える基金にしました。

県民生活への支援も考え、PCR検査場の早期設置等に全力で取り組みました。



## 土屋もとよし 県議会議員として 関わった事業



### 急傾斜地対策事業の 工事着手



壺之上地区の急傾斜地対策事業は、地域住民のみなさんの協力がなければ、工事自体ができない場所でした。重機の乗り入れや進入路の確保に協力が得られ、順調に工事が進んでいます。

浮橋地区も同じく、一度工事が始まれば急傾斜の危険が取り除かれるまで、工事を継続しなければなりません。

多くの地域で要望のある事業ですが、危険の度合いで優先順位が決まります。地域の協力も欠かせない事業です。

### 台風19号の 災害復旧工事

激甚災害に指定された台風19号の被害は本当にすさまじいものでした。災害箇所を見て回りましたが、余りの惨状に声も掛けられない状況でした。

災害復旧のために何度も関係機関に出向き、一日も早い復旧支援を働きかけました。被災者やボランティア、業者のみなさんの努力もあり、復旧の早さには目を見張りました。

### 南條交差点 改良の整備

南條区からの要望であった伊豆長岡駅前の南條交差点の渋滞解消に向けた取組は、平成29年度には完成しているはずでした。しかし、思うように進まず、中途での工事終了の危機もありました。結果的には、地域のみなさんの粘り強い活動が実り、本年度で完成の予定です。

交差点付近の電線の地中化は来年度になりそうです。



### 東部特別支援学校に続き 伊豆の国特別支援学校の 開校

2018年9月に東部特別支援学校の新校舎が完成し移転しました。車いすやベッドでの移動もスムーズになり、すきま風もない素晴らしい環境で学ぶことができます。

跡地には、伊豆の国特別支援学校が2021年4月に知的障害のある児童生徒が学ぶ学校として完成しました。

以前は、沼津市原までの遠距離通学で負担が大きく、学校は生徒数も多く、狭い校舎で厳しい教育環境でした。

今まで頑張ってきた保護者や関係者のみなさんに感謝すると共に、両特別支援学校の環境整備に携われたことを嬉しく思います。

### 順天堂大学病院前から 温泉場までの 歩道整備の決定

長岡南小に通学する子ども達が道路にはみ出し危険なため、一日も早い歩道整備ができればと思っていました。地域住民のみなさんの協力もあり、事業は順調に進んでいます。

順天堂前は、バスが止まると渋滞が発生していましたが、バス停が待避所に移動するので、安全が確保できます。



### 東京五輪・パラ2020 伊豆での自転車競技の 開催

オリンピック開催に向けて、サイクルスポーツセンターへの道路をはじめとする環境整備の最中に、新型コロナがまん延してしまいました。この機会に地域の基盤整備を推進しようとする様々な提案をしましたが、一部道路の拡幅や道路上に張り出した樹木の除去などの整備に留まりました。

一年延期となりましたが、自転車競技は伊豆で開催され、世界に伊豆の地名を発信できたことは大きな意義があったと思います。

レガシー(未来へひきついでいくもの)として今後も自転車を活用して地域の活力に結びつけていきたいと思います。



### 温泉管の敷設替えに 協力

伊豆の国市内には、温泉の配管が道路等の下に埋設されています。その配管も経年劣化で漏水している箇所もあり、新しいものに交換しなければなりません。そこで、県道工事が行われるタイミングで、連携を取りながら温泉管の敷設を実施しています。

近々では、順天堂前の歩道整備、大仁の踏切工事に合わせて行う計画です。